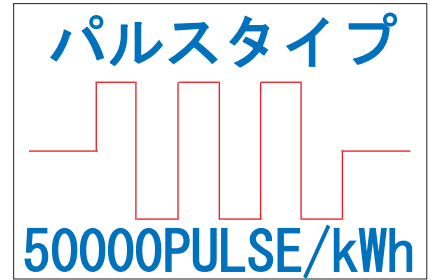




ムサシインテック
MUSASHI IN-TECH



USBメモリ対応

D-call III

5005 パルスタイプ
デマンド監視モニター

取扱説明書

本器を末永くご愛用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しい方法でご使用ください。
なお、この取扱説明書は、必要なときにいつでも取り出せるように大切に保存してください。

もくじ

●使用前に	1
●使用・安全上のご注意	1
1. 仕様・定格	3~5
(1) D-call Ⅲ本体	3
(2) 専用センサ	4
(3) D-call Ⅲ管理ソフト	5
2. 機能・各部の名称とはたらき	6
3. 設定手順	8~18
設定手順確認	8
1) 初期設定	10~13
■識別アドレス・PT比/CT比を設定	10
■西暦・月日・時刻を設定	13
2) 初期設定項目の確認と再設定	14~16
■設定状態確認 (識別アドレス・PT比/CT比・現在の時刻) …	14
■再設定	15
初期設定から再設定	16
設定の終了	16
3) 計測項目の設定	17
4. USBメモリへの書き込み	19~31
書き込み手順確認	19
□USBメモリについて	20
□書き込み操作前に	20
1) USBメモリの準備	21
■プロパティの確認	21
■メモリの確認	21
2) USBメモリのD-call Ⅲへの接続	22
3) 書き込み開始	23
4) 書き込み終了	25~29

■書き込みが正常な場合	25
■書き込み中にUSBメモリを引き抜いた場合 ...	25
■書き込み中に停電した場合	25
■ファイルの上限を超えて書き込みをした場合 ...	26
■書き込みに失敗した場合	26~28
◇接続エラー	26
◇メモリ容量不足エラー	27
◇システムエラー	28
■USBメモリで書き込めなかった場合	29
5) USBメモリ取り外し	30
□書き込みデータについて	31
5. データ画面切替操作	32
■画面の相互関係と切替操作	32
6. 電力表示画面詳細	34~59
■操作のご注意	34
■各電力データの相互関係について	34
■過去データスクロールについて	34
画面1. 瞬時電力	35
画面1-r. 瞬時電力ピーク値記録	35
➡瞬時電力ピーク値リセット操作	36
画面2. デマンド電力	37
◇デマンド電力推測値 (Gu)	37
画面2-s. デマンド目標値設定	38
画面2-r. デマンド過去記録	39
➡デマンド過去記録リセット操作	40
★デマンド警報動作	40
画面3. 月別電力量目標値比率	41
画面3-s. 電力量目標値設定	42
➡電力量目標値リセット操作	43

★対電力量目標値警報動作	44
画面4. 月別稼動日平均電力使用量	45
画面4-s. 稼動日設定	46
➡稼動日リセット操作	47
画面5. 月別一日平均電力使用量	48
画面6. 月別電力量前年同月比率	49
画面7. 月別積算電力量	50
画面7-s. 積算電力量リセット	51
➡全電力量データリセット操作	52
画面8. 月別電力使用量	53
画面9. 日別電力使用量	54
画面10. 時間別電力使用量	55
画面10-r. 時間帯別電力使用量記録	56
画面10-rs. 時間帯設定	58
➡時間帯リセット操作	59
7. 警報動作	60
◇警報動作について	60
8. リセット操作	61
◆完全リセット	61
◆各値リセット	61

●使用前に

「パルスタイプ デマンド監視モニター *D-call* Ⅲ」(以下D-call Ⅲという)は電力の自主管理を目的としておりますので、電気料金の取引等には使用できません。

ご使用になられた場合、理由のいかんにかかわらず、弊社では電気料金の補償はいたしかねますのでご了承ください。

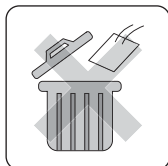
また、デマンド警報機能のご使用において、何らかの理由でデマンド警報が出力されずデマンド契約を超過した場合、理由のいかんにかかわらず、弊社では超過料金の補償はいたしかねますのでご了承ください。

●使用・安全上のご注意

けがや事故防止のため、以下の事項を必ずお守りください。

⚠危険 は、死亡または重傷の発生が想定される状況を、**⚠注意** は中程度の障害や軽傷の発生、または物的損害だけが想定される状況を示しています。

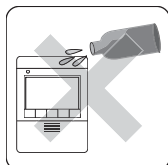
□使用上のご注意



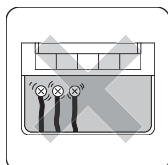
- ・この取扱説明書は施工、使用、保守・点検の前に必ずお読みください。
また、大切に保管してください。



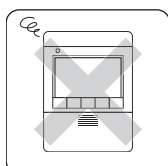
- ・本製品は、省エネ目的の自主管理用です。
取引や証明に使用する事は法律で禁止されています。



- ・清掃は柔らかい布で乾拭きしてください。
ベンジン、シンナーなどでは拭かないでください。



- ・端子ねじに緩みがないか定期的に点検してください。
この点検は必ず電圧入力を“切”にしておこなってください。

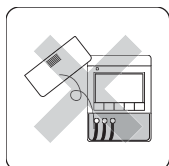


- ・本製品に不具合が生じた場合には、症状をご確認のうえ、
施工会社又は弊社へお申しつけください。

⚠ 使用上の危険



- ・ 本体を分解や改造して使用しないでください。
故障、感電、火災の原因となります。



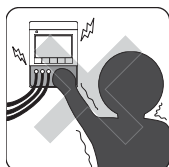
- ・ 端子カバーは取り付けられた状態でご使用ください。
取り付けずに使用しますと感電の原因となります。

⚠ 使用上の注意



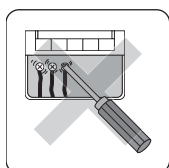
- ・ 本製品のご使用によって発生する損害やデータの
損失については、製造元会社および代理店などでは
一切責任を負いかねます。

⚠ 保守・点検上の危険



- ・ 有資格者以外の電気工事は法律で禁止されています。
- ・ 活線工事はしないでください。
感電や短絡による人身事故の恐れがあります。

⚠ 保守・点検上の注意



- ・ 端子ねじは、0.8～1.2Nmの範囲内のトルクで
締め付けてください。
締め付け不足は誤作動、火災の原因となります。

1. 仕様・定格

(1) D-call III 本体

品名	パルスタイプ デマンド監視モニター D-call III			
電源	入力電圧	AC100-200V		
	周波数	50/60Hz		
計測部	検出パルス	出力形式	オープンコレクタ, 半導体リレー (無電圧a接点) (機械式接点は不可)	
		接点容量	DC24V 10mA	
		パルス幅	10msec 以上	
		パルス間隔	20msec 以上	
		出力パルス数	50,000pulse/kWh	
	供給可能電源	DC+12V 5 mA 以下		
許容誤差	時計	通電時の月差±30秒以内 (通電時：電源同期式、停電時：クォーツ式)		
	デマンド時限	30分		
	制御電源	電圧入力端子P1、P2より供給		
	停電補償	電力データ・設定値・時計を10年間 (25℃)		
液晶表示	電力量 (1画面で3データ)	時間別電力使用量	360時間分	最大表示値: 9999.9 kWh
		日別電力使用量	35日分	最大表示値: 9999999 kWh
		月別電力使用量	15ヶ月分	最大表示値: 9999999 kWh
		月別積算電力量		
		月別一日平均電力使用量		最大表示値: 999999.9 kWh
		月別稼働日平均電力使用量		
	電力比率 (1画面で3データ)	月別電力量 前年同月比率		最大表示値: 9999.9 %
		月別電力量目標値比率		
		任意の時間帯の電力使用量	時間帯別電力使用量記録	8日分
		瞬時電力	スクロール周期1秒 (30秒間の平均値)	最大表示値: 9999.9 kW
		瞬時電力ピーク値記録	瞬時電力の最大値と記録月日時分および記録年 (西暦) を表示	
		現在時刻	瞬時電力画面に月日時分 (秒) を表示	
		デマンド	デマンド現在値・デマンド推測値 デマンド目標値・残り時間 (分秒)	最大表示値: 9999.9 kW
	デマンド過去記録	月最大デマンド電力, 順位 (1~13位) 発生月日時分 (当月含む過去13ヶ月間)		
	設定	時刻 (年月日時分/0秒セット) ※西暦2000~2999年 変成比 (CT比・PT比) 月別稼働日数 (12ヶ月分) 月別電力量目標値 (12ヶ月分) デマンド電力目標値 時間帯別電力使用量の時間帯 (3区分×2時間帯)		

液晶バックライト	緑色LED、手動入切、キー操作を行わない状態5分間継続で自動消灯	
超過警報 (月別電力量, デマンド電力)	警報表示：赤色LED点滅 警報出力：無電圧1a、AC250V・1A（抵抗負荷）	
USB メモリ	インターフェイス	USB1.1/2.0準拠
	ファイルシステム	FAT, FAT32
	USB状態表示	2色LED（緑, 赤）
端子	M3.5アップ端子（適正締め付けトルク：0.8~1.2Nm）	
適合電線	0.75~2.0mm ² （定格電圧300V以上）	
消費電力	7VA（最大負荷時）	
使用周囲温湿度	温度：-10~50℃ 湿度：85%以下	
質量	約350g	
取付方法	マグネットによる（本体取付済み）	

(2) 専用センサ

品名	D-call Ⅲ用 パルスセンサ	
構造	分割型	
取付方法	ワンタッチクランプ方式	
定格電圧	DC12V±10%	
端子部	ねじ端子 M2.6	
CT内径	φ5mm	
着脱回数	約100回	
ケース	PP樹脂	
使用温湿度	0~70℃ 80%RH	
寸法 (W×H×D)	33×79×22mm	
質量	約55g	
入力	入力形式	50,000pulse/kWh
	パルス電流	DC±6mA以上±40mA以下
	パルス幅	10msec 以上
	パルス間隔	20msec 以上
	立上り・立下り時間	2msec 以内
出力	出力形式	50,000pulse/kWh
	出力容量	オープンコレクタ DC35V 20mA
	出力パルス	50,000pulse/kWh 10msec 以上

※パルスセンサの開口部は接着固定してあります。

開口した場合、計測値に誤差を生じる可能性がありますので、絶対に開口しないでください。

(3) D-call Ⅲ管理ソフト

品名		D-call Ⅲ管理ソフト
データ通信	コンピュータ	IBM PC/AT 互換機 1GHz Pentium相当以上のプロセッサを搭載 256MB以上のメインメモリを推奨 HDD空き容量150MB以上 XGA 1024×768以上 USBポート (USB1.1以上) ディスク装置 CD-ROMドライブ DPI設定 96DPI
	対応OS (動作確認済みOS)	Microsoft Windows XP Professional SP2 Microsoft Windows XP Home Edition SP2 Microsoft Windows Vista Business SP1
	識別アドレス	0~255 (PC1台で本機を256台までデータ管理)

※PC/ATは、米国 IBMの登録商標です。

※Pentiumは、Intel Corp. またはその子会社の商標または登録商標です。

※Windowsは、米国 Microsoft Corp. の登録商標です。

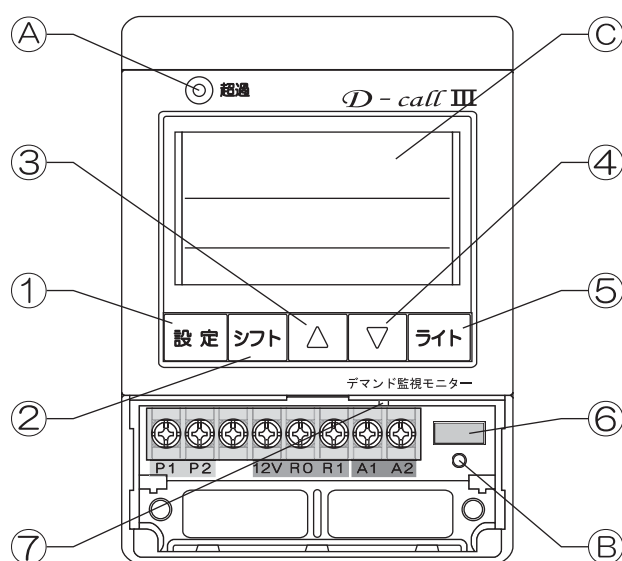
※上記の動作環境は本ソフトが動作する最小のものです。

2. 機能・各部の名称とはたらき

— おもな機能

- 現在と過去の電力量データを液晶画面に（7桁×3行）同時表示。
電力の使用状況が簡単に把握できます。
- カレンダー機能と時計機能を内蔵。
15ヶ月分、35日分、360時間分の各電力量データを記憶します。
- 電力データを元に、様々なデータを計算して表示します。
- 瞬時電力の確認、および簡易デマンド監視機能。
- 対目標値や対デマンド予測値の超過警報。（LEDと外部警報出力）
- 液晶バックライト付き。
- 停電補償機能。
（P1ーP2間に電圧をかけない状態で累積時間10年まで）
- USBメモリへのデータ書き込み機能。
※D-call Ⅲ管理ソフトによりパーソナルコンピューター（以下PC）で
データ処理可能

— 各部の名称とはたらき




■ 表示パネル

- ① 超過表示灯 : デマンド電力目標値および月別電力量目標値を超過すると赤色LEDが点滅します。
- ② USB : USBメモリを挿し込むと状況に応じてLEDが点灯。
アクセスランプ 接続完了を確認できます。
- ③ 液晶表示パネル : 電力データや日付時刻、および設定値を表示します。


■操作キー

※キーには、「長押し」指定の場合があります
「長押し」指定の場合は1秒以上押してください


①設定キー

設定モードへの切り替えや、設定数値の決定に使用します。
本文中では、と表します。


②シフトキー

設定数値の桁移動や、月データスクロール画面への移行、他のキーの補助機能に使用します。
本文中では、と表します。


③アップキー

画面表示の切り替えや、設定数値の増加に使用します。
(P.32『5. データ画面切替操作』をご参照ください)
本文中では、と表します。

④ダウンキー

画面表示の切り替えや、設定数値の減少に使用します。
(P.32『5. データ画面切替操作』をご参照ください)
本文中では、と表します。

⑤ライトキー

押すたびに液晶表示パネルのバックライトを点灯・消灯します。
ただし点灯状態で放置した場合でも、各キー操作をおこなわない状態が5分間継続すると自動的に消灯します。
またUSBメモリ書き込みキーとしても使用します。
本文中では、と表します。

⑥USB端子

USBメモリを挿し込むコネクタです。
コネクタカバー付きです。

⑦リセットボタン穴

穴部の奥にリセットボタンがあります。
(通常、使用する必要はありません)

3. 設定手順

設定手順確認

電力計測を開始させるまでの手順を下記でご確認ください。
電源を入れた直後の状態では、時計・電力計測は停止しています。

1) 初期設定

※詳細はP.10～13をご参照ください。

D-call Ⅲが電力を計測するために必要な設定です。
すべてのD-call Ⅲに設定してください。

■識別アドレス

…複数のD-call Ⅲのデータを区別するために異なるアドレスを設定します。

■PT比

…取引用計器のVTの変成比にあわせて設定します。

■CT比

…取引用計器のCTの変成比にあわせて設定します。

■西暦・月日・時刻

…現在日時を設定します。

※ここまで設定を完了すると『瞬時電力』画面になり計測を開始します。

※設定終了後、設定項目の確認をおこなってください。

2) 初期設定項目の確認と再設定

※詳細はP.14～16をご参照ください。

初期設定項目（識別アドレス・PT比・CT比・西暦・月日・時刻）の確認と再設定です。

■ 設定状態確認

…識別アドレスを確認します。

■ 再設定

…初期設定の内容を修正することができます。

3) 計測項目の設定

※詳細はP.17・18をご参照ください。

各電力計測画面で必要な設定をします。

お客様で必要な項目のみ設定してください。

◆ デマンド目標値設定

…デマンド管理をおこなう場合に、デマンド目標値の設定が必要です。

◆ 電力量目標値設定

…電力目標値に対する電力使用量の比率が必要な場合に、電力量目標値の設定が必要です。

◆ 稼動日設定

…電力使用量を月の稼動日で除算した平均電力量が月毎に必要な場合、稼動日の設定が必要です。

◆ 時間帯設定

…時間帯別の電力量が必要な場合、時間帯の設定が必要です。

◇ 積算電力量リセット

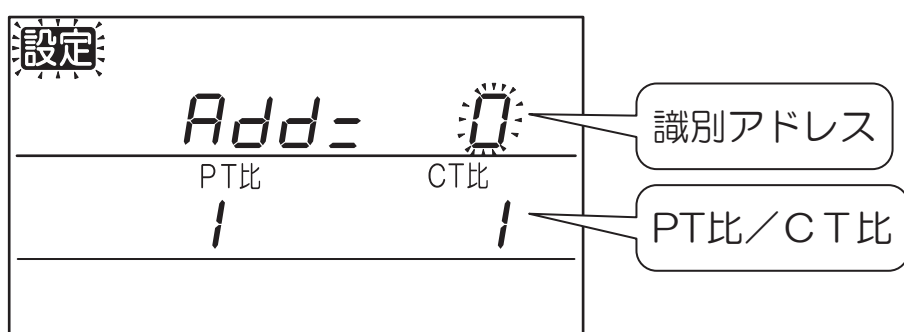
…各月月末時点での積算電力量をリセットする場合。

ここで設定は終了です。

1) 初期設定

初めて電源を入れた直後の状態では時計・電力計測は停止しています。動作させるには初期設定をすべて完了させる必要があります。初期設定は下記の手順でおこないます。
※初期状態および停電復帰直後のバックライトは点灯状態になっています。

■ 識別アドレス・PT比／CT比を設定



電源投入直後は上記の画面が表示されます。この画面が表示されたら初期設定をおこなっていきます。

識別アドレス

- ※複数のD-call Ⅲのデータを1つのUSBメモリ、PCに取り込む場合には、各D-call Ⅲのアドレスを異なる数値に設定してください。同じアドレスの場合にはデータを上書きします。
- ※アドレスは0~255まで設定可能ですので、最大256台のデータを記録できます。

PT比・CT比

- ※CT比は取引用計器のCTにあわせて設定してください。
例：計器用CTが[100A/5A]の場合

100÷5=20 ……………ですから、CT比は20となります

※PT比は取引用計器のVTにあわせて設定してください。

例：VTが[6600V/110V]の場合

6600÷110=60………ですから、PT比は60となります

PT比	CT比
1, 4	1, 2, 3, 4, 5, 6, 8, 10, 12, 15, 16, 20, 24, 30, 32, 36, 40, 48, 50, 60, 80, 100, 120, 150, 160, 200, 240, 300, 400, 500, 600, 800, 1000, 1200
30, 60	1, 2, 3, 4, 5, 6, 8, 10, 12, 15, 16, 20, 24, 30, 32, 36, 40, 48, 50, 60, 80, 100

※PT比・CT比は上表の値以外に設定できません。

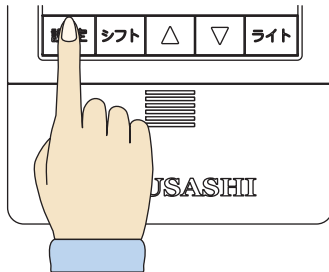
設定の際はご確認ください。

※PT比・CT比を設定後、何らかの理由によりPT比・CT比を再設定する場合は、D-call Ⅲ本体およびD-call Ⅲ管理ソフトをリセットしてください。

また過去のデータが必要な場合は、必ずバックアップをおこなってください。

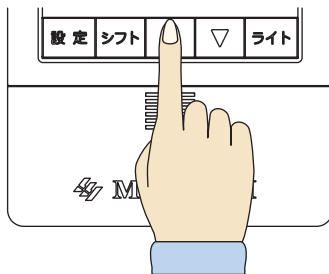
⚠ 注意	上記のPT比・CT比は、VT（計器用変圧器）およびCT（計器用変流器）の変成比です。 変成比は、各電力会社様電力量計に設定されている値となりますので電力会社様への確認が必要です。
------	--

①



設定できる項目は点滅しています。
点滅項目を移動させたい場合は、
設定を押します。

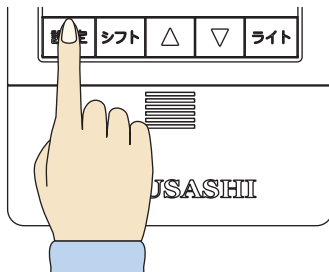
②



▲または▼を押すと数値を
選ぶことができます。

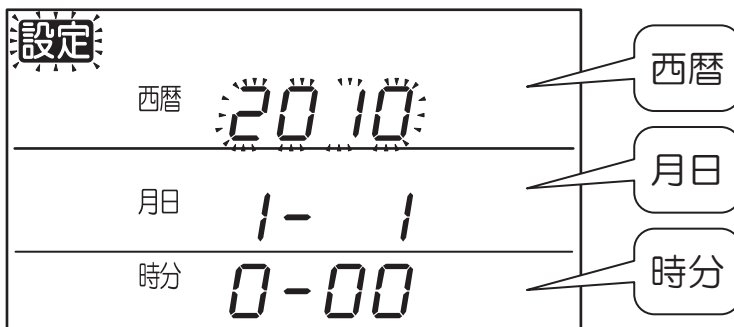
③ 上の①・②を繰り返し設定します。

④



設定に間違いがなければ
設定を「長押し」します。

■西暦・月日・時刻を設定



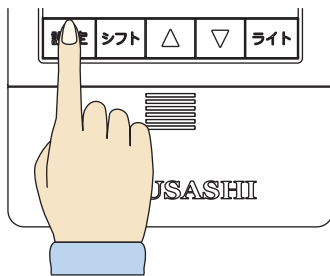
月日

※月の最大日数（閏年を含む）は自動的に判定します。

例：いったん3月31日に設定した後、月を4月に再設定する

日は自動的に30日に変更されます

①



設定できる項目は点滅しています。
点滅項目を移動させたい場合は、
設定を押します。

- ② ▲ または ▼ を押すと数値を選ぶことができます。
- ③ 上の①・②を繰り返し設定します。
- ④ 設定に間違いがなければ設定を「長押し」します。
- ⑤ 『瞬時電力』画面になり、計測を開始します。

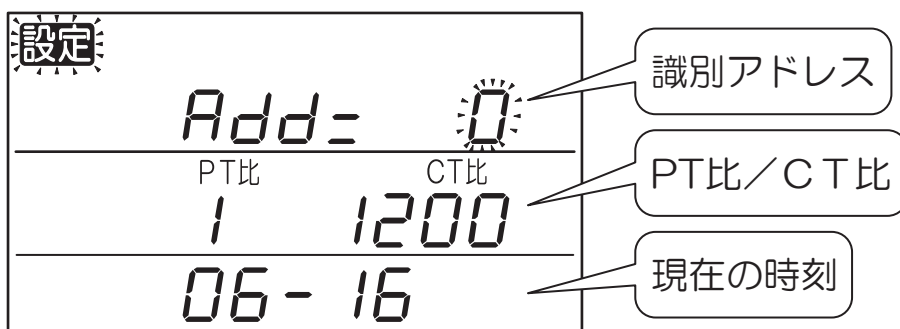
再設定が必要な場合は、P.16 『■再設定』をお読みください。

2) 初期設定項目の確認と再設定

初期設定で設定した内容（識別アドレス・PT比/CT比・西暦・月日・時刻）の確認と再設定です。

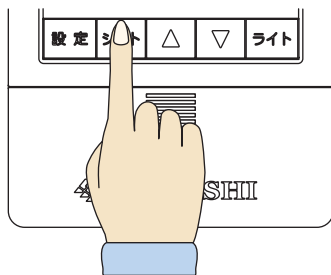
■設定状態確認（識別アドレス・PT比/CT比・現在の時刻）

『瞬時電力』画面から確認することができます。



① 『瞬時電力』画面であることをご確認ください。
(『瞬時電力』画面はP.35をご参照ください)

②



シフトを押した状態で保持します。

③ 押している間は『設定状態確認』画面が表示されます。
指を離すと『瞬時電力』画面に戻ります。

■再設定

※いったん『瞬時電力』画面へ移行したD-call Ⅲは、初期状態を離脱しています。

再び『■識別アドレス・PT比／CT比を設定』画面へ戻って設定をおこなっても電力計測および積算は継続します。

※『■識別アドレスを設定・PT比／CT比』画面は初期設定の手順で設定終了をおこなってください。

(設定の必要がない場合は、**設定**を「長押し」)

『■西暦・月日・時刻を設定』画面では設定終了時の操作が再設定をおこなう場合とおこなわない場合では異なります。

下記でご確認ください。

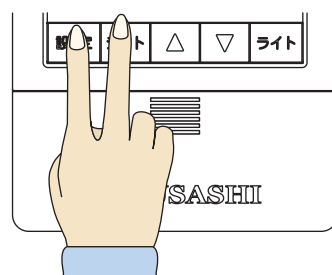
- ・『■西暦・月日・時刻を設定』画面で再設定が必要な場合
→ **設定**を「長押し」
- ・『■西暦・月日・時刻を設定』画面で再設定が必要ない場合
→ **シフト**を押しながら **設定**を「長押し」

(P.16『設定の終了』をご参照ください)

『設定状態確認』画面から再設定をおこなうことができます。

- ①『設定状態確認』画面を表示させます。
(P.14『設定状態の確認』をご参照ください)

②



シフトを押したまま **設定**を「長押し」します。

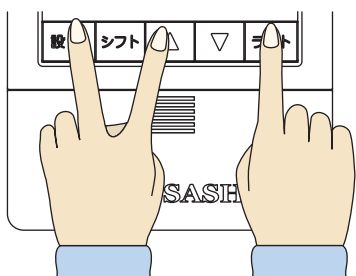
- ③ P.10『1) 初期設定』と同様の手順で再設定をおこなってください。

初期設定から再設定

時計と電力計測が停止し、すべての時刻／電力データおよび設定値が初期化／消去されます。

消去されたデータは回復できませんのでご注意ください。

※P.61『◆完全リセット』をご参照ください。



画面の状態にかかわらず、
設定 + ▲ + ライト を同時に5秒押します。

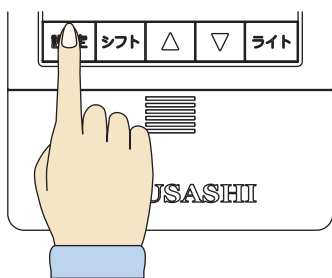
設定の終了

設定を終了させる場合、時刻の秒を0秒に修正する場合と修正しない場合があります。

押した瞬間を0秒として時刻の秒を修正する場合 …… 設定有効終了
押しても秒修正しない場合 …… 設定無効終了

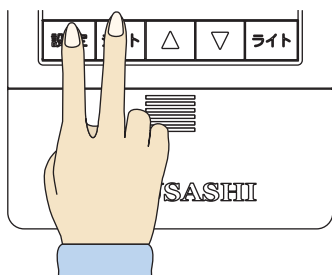
いずれかの操作をすると『瞬時電力』画面へ移行することができます。

◇設定有効終了



設定 を「長押し」します。

◇設定無効終了



シフト を押しながら 設定 を「長押し」します。

3) 計測項目の設定

ここからはお客様の必要な項目のみ設定してください。

◆デマンド目標値設定

デマンド管理をおこなう場合に、デマンド目標値を設定する必要があります。

『瞬時電力』画面からは を1回押してください。

P.38『画面2-s. デマンド目標値設定』をご参照ください

◆電力量目標値設定

電力目標値に対する電力使用量の比率が必要な場合に、電力量目標値を設定する必要があります。

『瞬時電力』画面からは を2回押してください。

P.42『画面3-s. 電力量目標値設定』をご参照ください

◆稼働日設定

電力使用量を月の稼働日で除算した平均電力量が月毎に必要な場合、稼働日を設定する必要があります。

『瞬時電力』画面からは を3回押してください。


P.46『画面4-s. 稼働日設定』をご参照ください

◆時間帯設定

1日を3つの時間帯に区分し、各区分毎の電力使用量が必要な場合、時間帯を設定する必要があります。

『瞬時電力』画面からは を1回押し、 を「長押し」して『画面10-r. 時間帯別電力使用量記録』を表示させてください。

P.58『画面10-rs. 時間帯設定』をご参照ください



この項目（画面7-s）はリセット操作です。
設定項目ではありません。ご注意ください。

◇積算電力量リセット

各月月末時点での積算電力量をリセットする場合の操作です。
『瞬時電力』画面からは▲を4回押してください。

P.51『画面7-s. 積算電力量リセット』をご参照ください

ここで設定は終了です。

次のページからはUSBメモリへの書き込み操作です。

4. USBメモリへの書き込み

書き込み手順確認

USBメモリの書き込み手順を下記でご確認ください。

1) USBメモリの準備

※詳細はP.21をご参照ください。

USBメモリの状態をPCで確認します。

■プロパティの確認

…USBメモリ内のデータを確認します。

■メモリの確認

…空き容量が十分な状態か確認します。

2) USBメモリのD-call Ⅲへの接続

※詳細はP.22をご参照ください。

USBメモリの接続方法です。

3) 書き込み開始

※詳細はP.23・24をご参照ください。

USBメモリへデータを書き込みます。

4) 書き込み終了

※詳細はP.25～29をご参照ください。

書き込みが正常に終了したか確認します。

5) USBメモリの取り外し

※詳細はP.30をご参照ください。

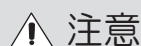
USBメモリの取り外し方法です。

ここでUSBメモリへのデータ書き込みは完了です。

□USBメモリについて

USBメモリ対応のD-call Ⅲには家電量販店等で市販されている、FAT16およびFAT32のファイルシステムに対応したUSB1.1および2.0のUSBフラッシュメモリを接続することができます。

しかしながら現在USBメモリは国内外の多くのメーカーから多種多様の製品が販売されており、場合によっては本機で使用できないUSBメモリがでてくる可能性があります。



本機ではセキュリティ機能付きのUSBメモリでは使用できません。
(指紋認証、ハードウェアレベルのパスワード機能付きのUSBメモリ)

□書き込み操作前に

すべての電力表示画面から書き込むことができます。

※ただし、電力表示以外の画面からは書き込むことができません。

書き込むことができない画面は下記でご確認ください。

- ・初期設定画面
- ・計測項目の設定画面
- ・リセット操作画面
- ・書き込み終了画面

1) USBメモリの準備

まずUSBメモリの状態をPCで確認します。
USBメモリをPCに接続してください。
ドライバーのインストールが必要な場合があります。

■プロパティの確認

“マイコンピュータ”を開きます



USBメモリに相当するリムーバブルディスクのアイコンを
右クリック



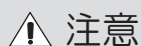
メニューからプロパティを選択



メモリ空き容量の確認

■メモリの確認

- ①上記『■プロパティの確認』で開いたプロパティから、空き領域の項目をご確認ください。
- ②十分な空き容量がない場合は、正常に書き込めない場合があります。
(十分な空き容量は100KB以上です)
- ③空き領域が少ない場合は、既存のファイル/フォルダを他のディスクへ移動するか、不要であれば削除して空き領域を確保ください。

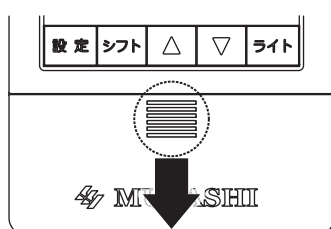


フォーマットすると、そのドライブ内にある全データが
消去されます。
またUSBメモリ内の必要なデータは、他のディスク等で
バックアップしてください。

2) USBメモリのD-call Ⅲへの接続

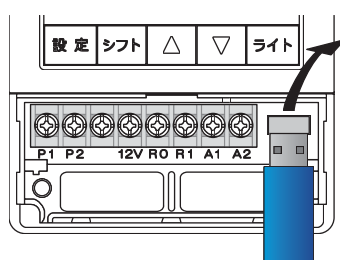
⚠ 危険	本体の端子カバー取り外し時は、充電部に触れないようにご注意ください。
⚠ 注意	USB端子にはUSBメモリ以外の機器を接続しないでください。本体が故障する場合があります。

①



点線の円で囲んだ付近を押しながら、矢印の方向へスライドさせ、端子カバーを外します。

②



端子台右隣のUSBコネクタカバーを外します。USB端子にUSBメモリを直接挿し込みます。

③ USB端子直下のUSBアクセスランプが緑色の点灯に変われば接続完了です。

※アクセスランプが緑色の点灯に至らない場合
(点滅継続や消灯または赤色点灯)

- コネクタの接触不良
→USBメモリおよびD-call Ⅲ USB端子の汚れや異物を取り除いてください。
- USBメモリの故障/フォーマット不備
→正常なUSBメモリを再度フォーマットしてください。
- D-call Ⅲ USB制御部の故障
→お手数ですが、お近くの当社営業所までお問い合わせください。
- USBメモリでエラーが発生
→本体のリセットボタンを押してください。(P.6を参照)

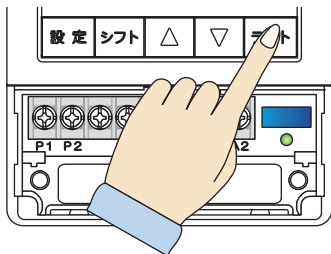
3) 書き込み開始

通常画面から書き込みをおこなってください。

※下記の画面からは書き込み操作をおこなえません。
ご注意ください。

- ・初期設定画面
- ・書き込み終了画面（記録確認表示，エラー表示）
- ・リセット操作画面
- ・計測項目の設定画面
 - 画面2-s. デマンド目標値設定
 - 画面3-s. 電力量目標値設定
 - 画面4-s. 稼働日設定
 - 画面7-s. 積算電力リセット
 - 画面10-rs. 時間帯設定

アクセスランプが緑色の点灯であることをご確認ください。

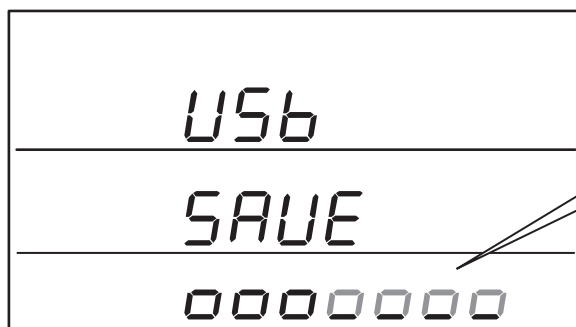


ライトを2秒以上押します。


データ書き込みを開始します。

右の画面が表示され、アクセスランプが赤／緑の交互点滅後、緑色で点滅します。

【データ書き込み中】



バーグラフで書き込み中であることを示します



※USBメモリの品種にもよりますが、書き込み時間は通常10秒程度です。

(USBメモリ内に保存されているデータ容量により、書き込み時間が通常より長くなる場合があります)

※書き込み中に00分または30分をまたいだ場合、モニター内のデータが更新されますので、USBメモリへの書き込みは自動的に最初からやり直します。

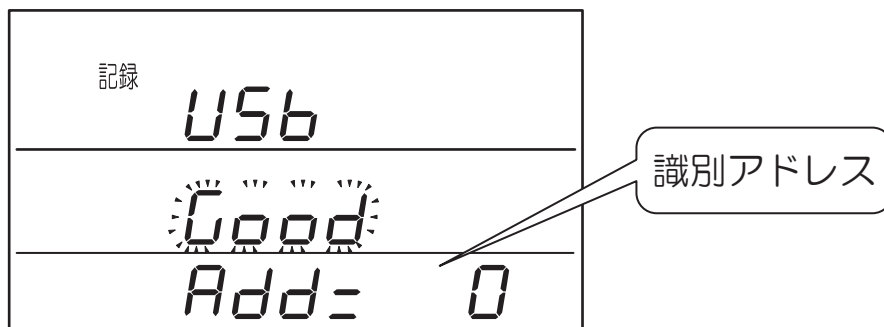
この場合、書き込み時間が通常の倍近く要しますが故障ではありません。

4) 書き込み終了

■書き込みが正常な場合

書き込みが正常に終了すると記録確認表示に変わります。
USBメモリを抜くと、元画面に復帰します。

【記録確認表示】



※書き込み終了時の時刻がファイル更新日時に反映されます。

※一度書き込みを完了した時点で、USBは動作停止します。

再度書き込みをおこなう場合は、USBメモリを挿し直してください。

■書き込み中にUSBメモリを引き抜いた場合

書き込み中にUSBメモリを引き抜いた場合、システムエラーが表示されます。

この場合、約5秒間のエラー表示後に元画面に復帰しますが、USBメモリ内のデータを壊す恐れがありますので、書き込み中（ランプ点滅中）はUSBメモリを引き抜かないようにご注意ください。

■書き込み中に停電した場合

書き込み中に停電した場合、画面表示が元画面に復帰しない場合があります。

その際は本体のリセットボタンを先の細い絶縁物で押してください。本体のリセットボタンはP.6『2. 機能・各部の名称とはたらき』をご参照ください。

(リセットボタンを押しても、本体の設定・計測データは消去されません)

■ファイルの上限を超えて書き込みをした場合

P.31 『□書き込みデータについて』をご参照ください。

■書き込みに失敗した場合

書き込みに失敗した場合、エラー表示となります。
表示されたエラーによって原因と解決方法が異なります。
下記をご覧ください。

● “ Con-Err ” の場合

下記『◇接続エラー』をご参照ください。

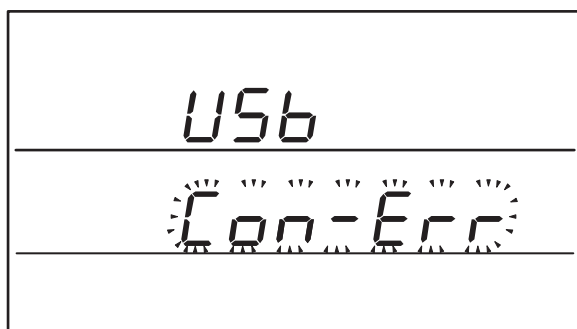
● “ FUL-Err ” の場合

P.27 『◇メモリ容量不足エラー』をご参照ください。

● “ SYS-Err ” の場合

P.28 『◇システムエラー』をご参照ください。

◇接続エラー



約5秒表示後、元画面に復帰します。

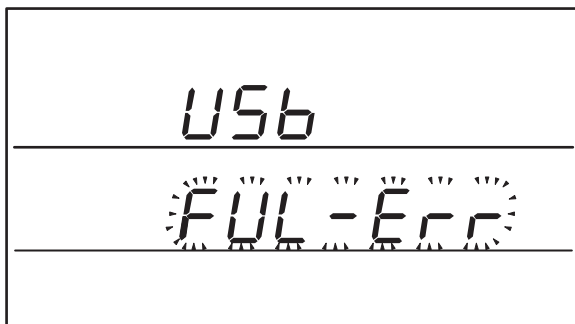
【考えられる原因・解決方法】

●USBメモリが未接続

●コネクタの接続不良

→いったんUSBメモリを引き抜き、端子の汚れや異物を取り除いてください。

◇メモリ容量不足エラー

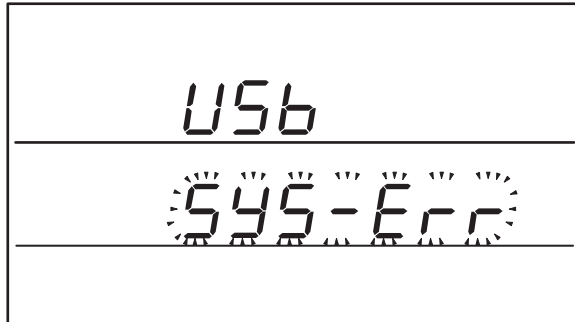


USBメモリを抜くと、元画面に復帰します。

【考えられる原因・解決方法】

- USBメモリの空き領域不足
→十分な空き領域を確保してください。
P.21 『1) USBメモリの準備』をご参照ください。
- ファイルの上限を超えた書き込み
→P.31 『□書き込みデータについて』をご参照ください。

◇システムエラー



USBメモリを抜くと、元画面に復帰します。

【考えられる原因・解決方法】

- USBメモリの故障
- D-call ⅢUSB制御部の故障
→お手数ですが、お近くの当社営業所までお問い合わせください。
- USBメモリのライト・プロテクト
→USBメモリにライト・プロテクト機能がある場合は、機能を“OFF”にしてください。
- ファイル数超過
→USBメモリのルートディレクトリに書き込めるファイル数は最大512個です。
監視ソフトを使用して、いったんPCにデータを転送するか、ルートディレクトリ下の不要ファイル、フォルダを削除してください。
- 書き込み中にUSBメモリを引き抜いた
→P.25『■書き込み中にUSBメモリを引き抜いた場合』をご参照ください。



■USBメモリで書き込めなかった場合

USBメモリで接続または書き込みをおこなったときにエラーが発生した場合は本体のリセットボタンを先の細い絶縁物で押してください。

本体のリセットボタンはP.6『2. 機能・各部の名称とはたらき』をご参照ください。

(リセットボタンを押しても、本体の設定・計測データは消去されません)

5) USBメモリ取り外し



危険

USBメモリへの書き込み完了後はUSBメモリを取り外し、必ず端子カバー，USBコネクタカバーをはめてください。

アクセスランプが点滅状態の時はUSBメモリを取り外さないでください。

記録内容を壊す恐れがあります。

点灯あるいは消灯状態であれば、安全に取り外し可能です。

そのまま引き抜いてください。

なお、書き込み時以外はUSBメモリを取り外し、必ずD-call Ⅲ本体の端子カバーとUSBコネクタカバーをはめてください。

ここでUSBメモリへのデータ書き込みは完了です。

□書き込みデータについて

USBメモリに書き込まれたデータファイルはD-call Ⅲ内に保存されている全電力データです。

PCに取り込んで専用ソフト（D-call Ⅲ管理ソフト）にてデータ処理することにより、表やグラフに展開できます。

なお、D-call Ⅲ内に保存されている時間毎電力量は15日分ですから、2週間毎にデータを取り込めば時間毎の電力推移データを切れ目無く保存できます。

データファイルはUSBメモリのルートディレクトリに作成され、書き込んだ時の日付がファイル名、アドレス番号が拡張子になります。

例：2010年8月24日でアドレス“100”設定の場合

ファイル名：20100824.100

※同日の同アドレスで同じUSBメモリに書き込みを行うと、同ファイル名で上書きされます。

※USBメモリのルートディレクトリに書き込めるファイル数は512個が上限です。

（USBメモリのファイルシステムがFATの時）

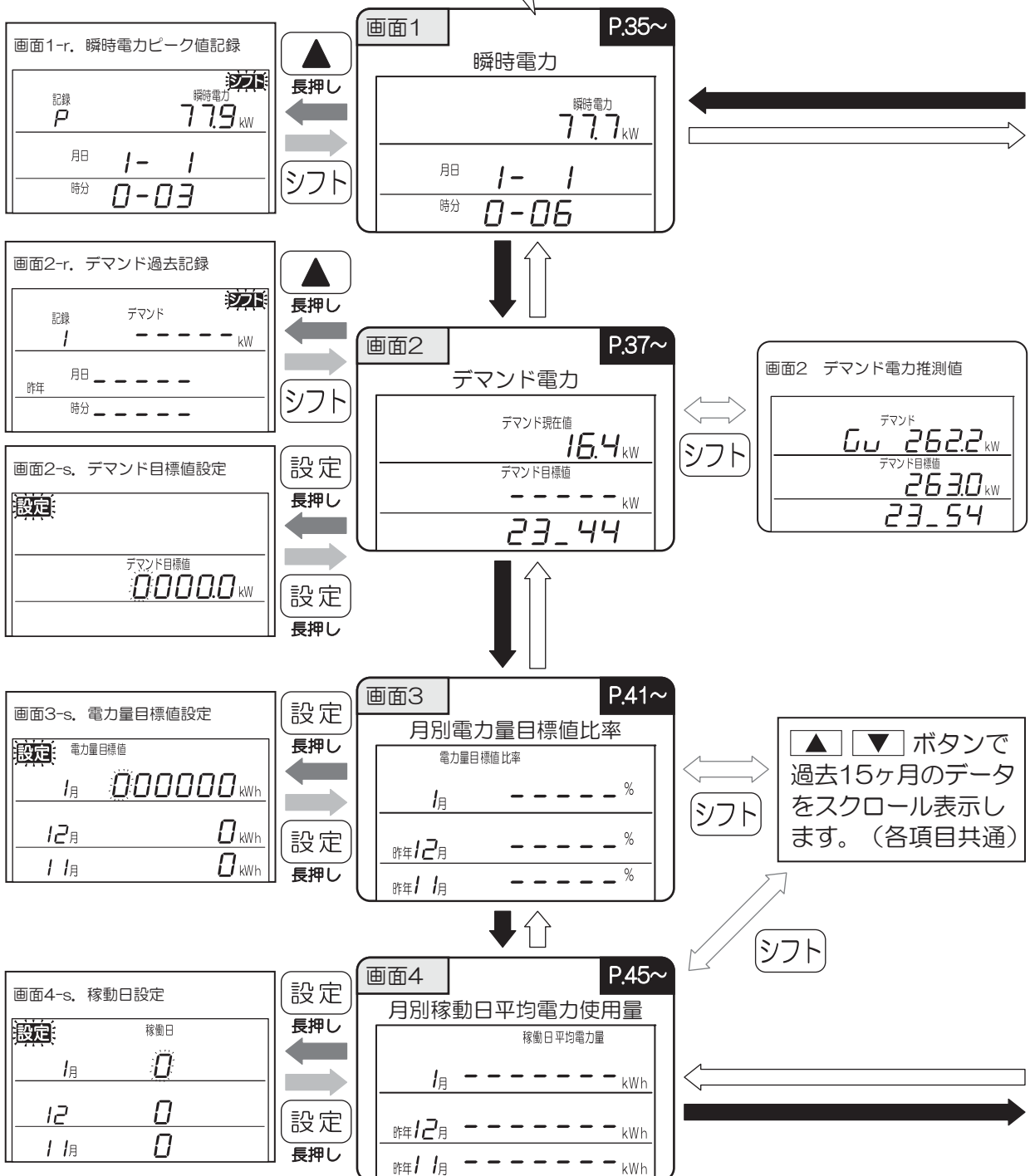
ファイル数が上限を超えると“FUL-Err”となります。

5. データ画面切替操作

■画面の相互関係と切替操作

各画面の相互関係、および切替操作は図の通りです。
 (詳細はP.34『6. 電力表示画面詳細』をご覧ください)

初期設定終了後は、『画面1. 瞬時電力』になります



6. 電力表示画面詳細

■操作のご注意

※初期設定を終了すると『瞬時電力』画面となります。

※相互関係および、切替操作はP.32『5. データ画面切替操作』をご覧ください。

※積算電力量を除く各画面の電力量は、表示可能値を越えると点滅表示となります。

積算電力量は、表示可能値を超えると0から再積算されます。

※データが無い場合または目標値などが未設定のデータは、「-----」または「-----」と表示されます。

■各電力データの相互関係について

[月別電力使用量] は、小数点以下は端数を月ごとに切り捨てています。これに対して [月別積算電力量] では端数も積算します。

したがって計測開始から任意の月までの [月別電力使用量] の合計値と、その任意の月における [月別積算電力量] 値は、必ずしも一致しません。

[月別積算電力量] 値の方が大きくなる場合があります。

[月別電力使用量] と [日別電力使用量] の月合計値、および [日別電力使用量] と [時間帯別電力使用量] の日合計値との関係も同様です。

■過去データスクロールについて

電力量データ画面『画面3. 月別電力量目標値比率』～『画面10. 時間別電力使用量』で操作可能です。

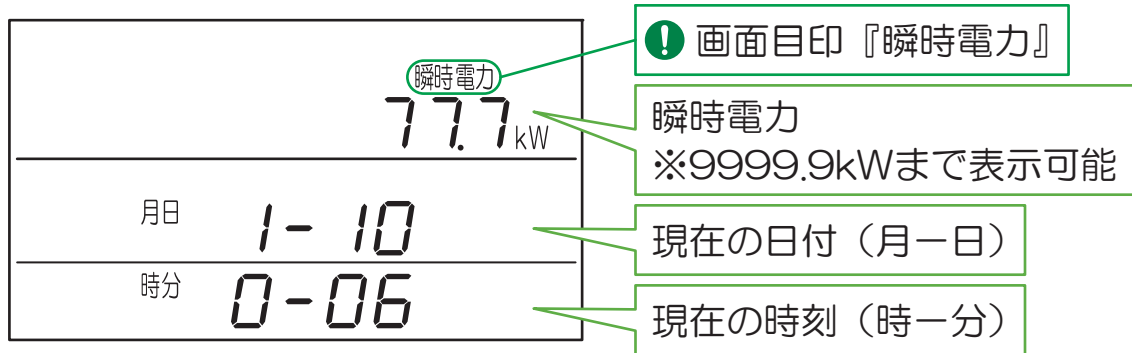
設定画面からは操作できません。

スクロールした位置はスクロール可能な状態が解除されても保存されます。

また月別データ（画面3～8）間では共通となります。

画面1. 瞬時電力

どんな画面? 瞬時電力およびカレンダー、時刻を表示します。
瞬時電力は1秒毎に更新します。



他の表示画面に切り替える場合の操作

画面 2. デマンド電力 (P.37) ▲

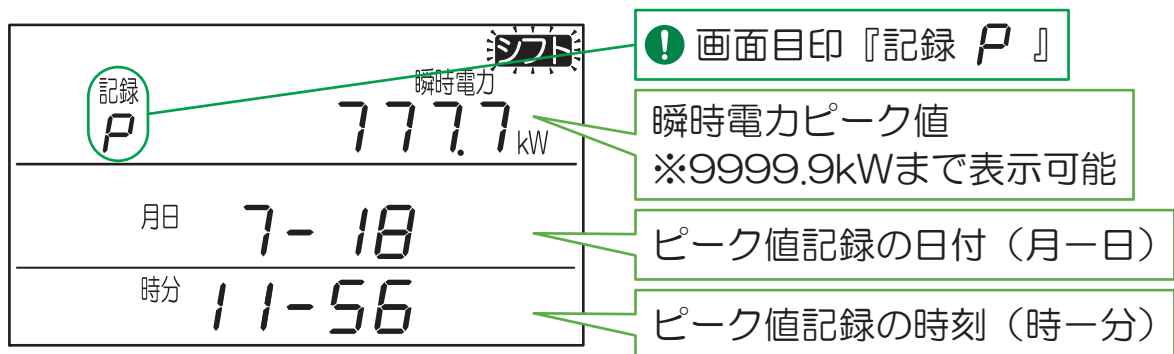
画面10. 時間別電力使用量 (P.55) ▼

画面1-r. 瞬時電力ピーク値記録

どんな画面? 瞬時電力のピーク値情報を表示します。

瞬時電力ピーク値記録画面の表示・解除操作

画面表示..... ▲ を長押し 表示解除..... シフト を押す



※記録と同一の数値が出現した場合、記録の年数と日付および時刻が更新されます。

年数 (西暦) 表示の操作

ピーク値を記録した年数 (西暦) は [設定] を押すと、1行目に表示

② 瞬時電力ピーク値リセット操作

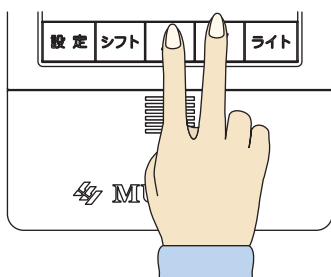
『瞬時電力ピーク値記録』画面から操作することができます。
(画面表示はP.35をご参照してください)

①



『瞬時電力ピーク値記録』であることを確認します。

②



▲と▼を同時に押します。

現在の瞬時値にリセットされ、リセット前のデータは回復できません

画面2. デマンド電力

? デマンド電力とは…

電力会社との契約電力を決める時、目安とする電力。

目安とする電力は30分毎に計量し、年間で最もたくさん使用した電力が基準となる。

どんな画面? 時限30分のデマンド電力情報を表示します。

The screenshot shows a digital display with three rows of information:

- Top row: "デマンド現在値" (Demand Current Value) with a value of "16.4 kW". A callout box points to this value, stating: "画面目印『デマンド現在値』" (Screen marker 'Demand Current Value').
- Middle row: "デマンド目標値" (Demand Target Value) with a value of "80.0 kW". A callout box points to this value, stating: "デマンド電力目標値 ※目標値0の場合、『-----』を表示 ※設定は画面2-sでおこないます" (Demand Power Target Value. ※Target value 0 case, display '-----'. ※Setting is done on screen 2-s).
- Bottom row: "デマンド計時残り時間 (分一秒)" (Demand Timing Remaining Time (min-sec)) with a value of "23_44". A callout box points to this value, stating: "デマンド計時残り時間 (分一秒)" (Demand timing remaining time (min-sec)).

Additional callout for the top row: "デマンド電力現在値 ※9999.9kWまで表示可能" (Demand Power Current Value ※Up to 9999.9kW displayable).

👍 他の表示画面に切り替える場合の操作

画面 3. 月別電力量目標値比率 (P.41) …………… ▲

画面 1. 瞬時電力 (P.35) …………… ▼

◇ デマンド電力推測値 (Gu)

どんな画面? デマンド時限終了時のデマンド電力を推測します。

👍 デマンド電力推測値 (Gu) 画面の表示・解除操作

画面表示………… シフト を押す

表示解除………… シフト を押す

The screenshot shows a digital display with three rows of information:

- Top row: "デマンド" (Demand) with a value of "Gu 78.8 kW". A callout box points to the "Gu" symbol, stating: "画面目印『Gu』" (Screen marker 'Gu').
- Middle row: "デマンド目標値" (Demand Target Value) with a value of "80.0 kW". A callout box points to this value, stating: "デマンド電力推測値 (Gu) ※9999.9kWまで表示可能 ※停電した場合、復電から次の00秒までは『-----』が表示されます" (Demand Power Prediction (Gu) ※Up to 9999.9kW displayable ※In case of power outage, from the next 00 seconds after power restoration, '-----' is displayed).
- Bottom row: "デマンド計時残り時間 (分一秒)" (Demand Timing Remaining Time (min-sec)) with a value of "23_44".

画面2-s. デマンド目標値設定

どんな画面？ デマンド目標値を設定します。

👉 デマンド目標値設定画面の表示・終了操作

画面表示…………… [設定] を長押し 表示解除…………… [設定] を長押し

※設定終了の操作はP.16『設定の終了』をご参照ください。

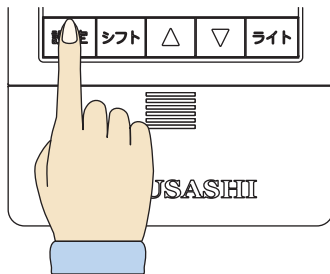


❗ 画面目印『デマンド目標値』

※9999.9kWまで表示可能
※計測誤差を考慮し、設定値は契約電力値の90%程度にしてください

① 『デマンド目標値設定』画面であることを確認します。

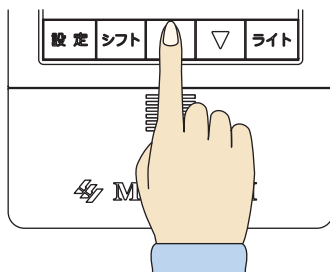
②



設定できる桁は点滅しています。

[設定] または [シフト] を押すと点滅が移動します。

③



▲ または ▼ を押すと数値が変更します。

画面2-r. デマンド過去記録

どんな画面？ 過去13ヶ月の月毎に記録したデマンド電力ピーク値を、大きい順に表示します。

👆 デマンド過去記録画面の表示・解除操作

画面表示…………… を長押し 表示解除…………… を押す

The screenshot shows a digital display with the following information:

- Top right: button with a callout: **! 画面目印『デマンド』**
- Top left: 記録 1
- Top center: **デマンド** label and **800.0 kW** value with a callout: **デマンド電力ピーク値 ※9999.9kWまで表示可能**
- Middle: 月日 1-10 with a callout: **ピーク値記録の日付（月一日）**
- Bottom: 時分 10-00 with a callout: **ピーク値記録の時刻（時一分）**

👆 記録表示の切替操作

記録1～13の表示切替をする場合、 または を押す

※ピーク値が同一記録の場合、最新のものが上位記録となります。

※日替わり時、例えば10日の0時00分のデータは9日の24時00分として記録します。

※各項目とも、記録データが無い場合は『-----』が表示されます。

※記録の月データについては、現在月を起点として何ヶ月前のデータであるか計算し、表示します。

そのため、時刻設定画面において現在月を変更すると、場合によってはありえない日付を表示する場合がありますが、ご了承ください。

例：現在月を1ヶ月前に変更する

「3/31」が「2/31」となります

この場合にUSBメモリへ書き込みをしたデータはD-call Ⅲ管理ソフトではデータクリアされ、空欄表示となります。

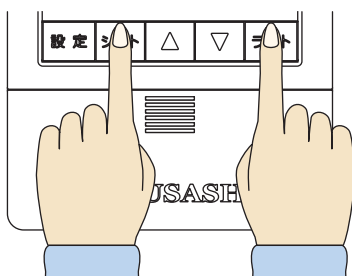
② デマンド過去記録リセット操作

『デマンド過去記録』画面から操作することができます。
(画面表示はP.39、過去記録のリセット操作はP.61『◆各値リセット』をご参照ください)

この操作をおこなうと、デマンド過去記録がすべて消去されます。

① 『デマンド過去記録』であることを確認します。

②



シフト を押しながら リセット を5秒押します。

リセット前のデータは回復できません

★デマンド警報動作

※P.60『◇警報動作について』をお読みください

デマンド電力目標値が0以外に設定されているとき、以下の条件が成り立つと警報動作（超過ランプ点灯，外部警報出力接点閉路）をおこないます。

- ① [デマンド電力現在値 \geq デマンド電力目標値]
- ② [デマンド電力推測値 \geq デマンド電力目標値]
(②はデマンド計時開始直後の6分間を除く)

いずれの場合も警報発生から5分間は警報を保持し、5分経過以後に双方の条件が不成立になれば警報動作は解除されます。

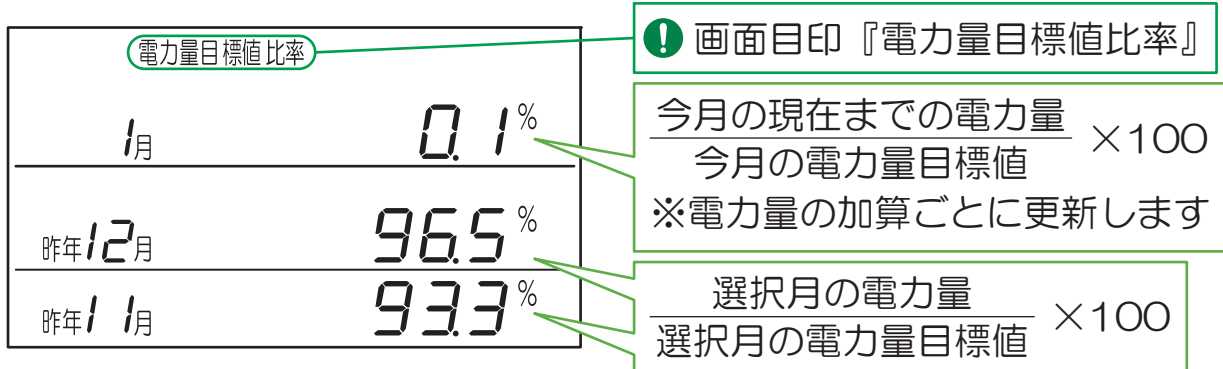
また次回のデマンド計時開始時刻になったとき、あるいは停電時には警報動作は解除されます。(5分間保持中であっても解除)

なおデマンド電力推測値は下式で表され、1分毎(00秒時)に更新されます。

$$\text{デマンド電力推測値} = \left(\text{直後1分間のデマンド電力} \right) \times \left(\text{デマンド計時残り時間(分)} \right) + \text{デマンド電力現在値}$$

画面3. 月別電力量目標値比率

どんな画面? 電力目標値に対する電力使用量の比率を月毎に表示します。
(過去15ヶ月分)



👉 他の表示画面に切り替える場合の操作

画面 4. 月別稼動日平均電力使用量 (P.45)

画面 2. デマンド電力 (P.37)

👉 過去データスクロール画面表示・解除操作

画面表示..... を押す 表示解除..... を押す

画面表示後、 または を押すと過去データをスクロール

※P.34『■過去データスクロールについて』をご参照ください。

※9999.9%まで表示可能です。

(オーバーすると9999.9を点滅表示)

※電力量目標値が0の場合、『-----』が表示されます。

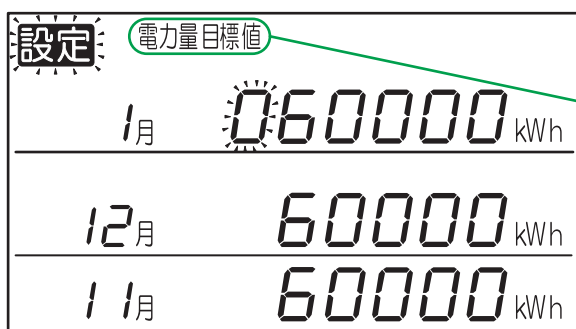
画面3-s. 電力量目標値設定

どんな画面？ 比率を表示するために電力量目標値を設定します。

👍 電力量目標値設定画面の表示・終了操作

画面表示…………… [設定] を長押し 表示解除…………… [設定] を長押し

※設定終了の操作はP.16『設定の終了』をご参照ください。

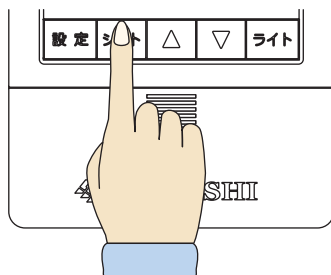


❗ 画面目印『電力量目標値』

※999999kWhまで表示可能
※設定された目標値は毎年有効です

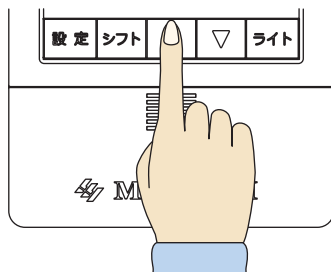
① 『電力量目標値設定』画面であることを確認します。

②



設定できる桁は点滅しています。
[シフト] を押すと点滅が移動します。

③



▲ または ▼ を押すと数値が変更します。

④ 月順送りする場合は、[設定] を押します。

月逆送りする場合は、[シフト] を押しながら [設定] を押します。

⑤ 上の②～④を繰り返して設定します。

② 電力量目標値リセット操作

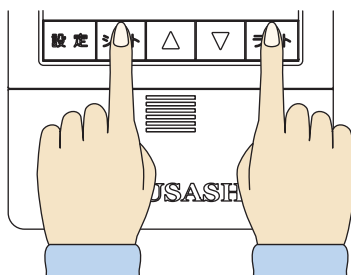
『電力量目標値設定』画面から操作することができます。
(画面表示はP.42、目標値のリセット操作はP.61『◆各値リセット』をご参照ください)

①

月	目標値 (kWh)
1月	060000
12月	60000
11月	60000

『電力量目標値設定』であることを確認します。

②



シフトを押しながらライトを5秒押します。

リセット前のデータは回復できません

★対電力量目標値警報動作

※P.60『◇警報動作について』をお読みください

画面3または画面3-sにおいて、以下の条件（①～④）すべてが成立すると、警報動作（超過ランプ点滅，外部警報出力接点閉路）をおこないます。

- ① 今月現在の電力量目標値比率 $\geq 100\%$
- ② 今月の電力量目標値 $\neq 0$
- ③ デマンド目標値 = 0
- ④ $\frac{\text{今月現在の電力使用量}}{\text{今月の電力量目標値}} \geq 1\%$

※条件③はデマンド警報優先のため。

条件④は計算誤差による無用な警報動作を制限します。

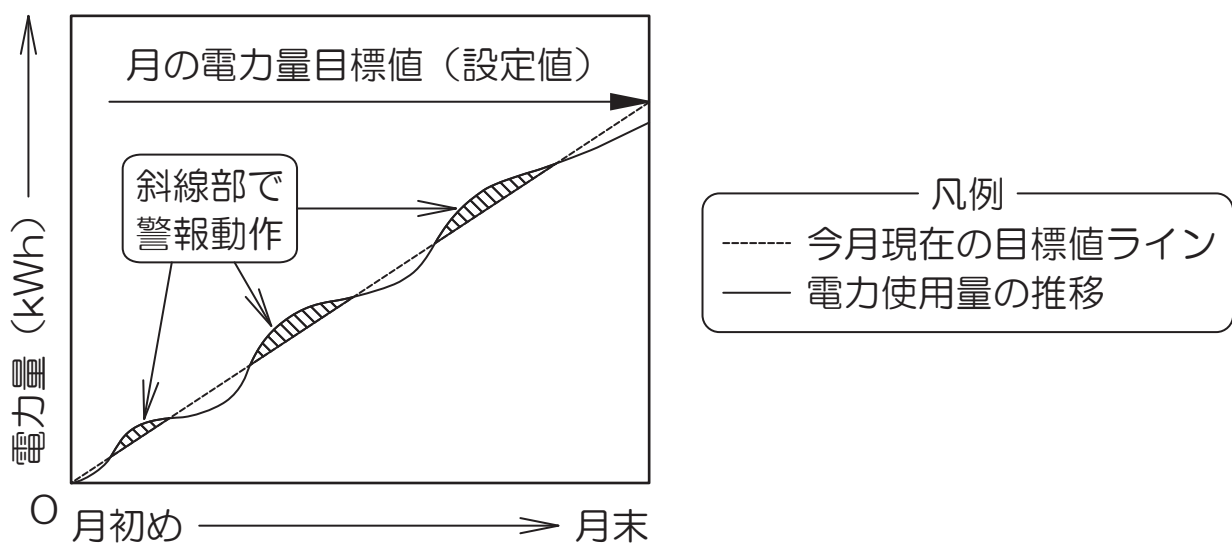
なお警報発生から5分間は警報を保持します。

5分経過以後、下式（条件⑤）が成立すると警報は解除されます。

- ⑤ 今月の電力量目標値比率 $\leq 99\%$

また警報保持中の5分間であっても、月変わり時や停電時、および他の画面への切替時に警報は解除されます。

【対電力量目標値警報イメージ図】



画面4. 月別稼働日平均電力使用量

どんな画面? 電力使用量を月の稼働日数で除算した稼働日平均電力量を月毎に表示します。(過去15ヶ月分)

$$\frac{\text{今月の現在までの電力量}}{\text{今月の計測日数 (秒} \rightarrow \text{日換算)}} \times \frac{\text{今月の日数}}{\text{今月の稼働日数}}$$
 ※電力量の加算ごとに更新します

1月	稼働日平均電力量 288.19 kWh
昨年12月	2894.3 kWh
昨年11月	2800.5 kWh

❗ 画面目印『稼働日平均電力量』

$$\frac{\text{選択月の電力量}}{\text{選択月の計測日数 (秒} \rightarrow \text{日換算)}} \times \frac{\text{選択月の日数}}{\text{選択月の稼働日数}}$$

近似的には右式と同等

$$\frac{\text{選択月の電力量}}{\text{選択月の稼働日数}}$$

👉 他の表示画面に切り替える場合の操作

画面 5. 月別一日平均電力使用量 (P.48) …………… ▲

画面 3. 月別電力量目標値比率 (P.41) …………… ▼

👉 過去データスクロール画面表示・解除操作

画面表示…………… [シフト] を押す 表示解除…………… [シフト] を押す

画面表示後、▲ または ▼ を押すと過去データをスクロール

※P.34 『■過去データスクロールについて』をご参照ください。

※999999.9kWhまで表示可能です。

(オーバーすると999999.9を点滅表示)

※稼働日が0に設定されている場合、『-----』が表示されます。

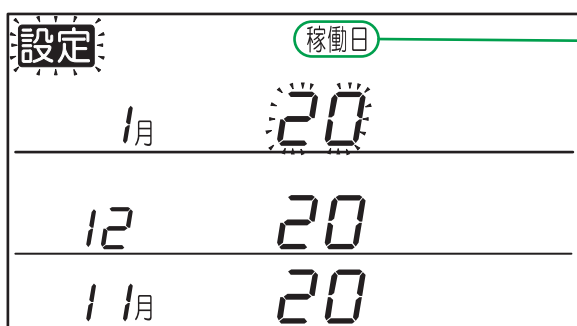
画面4-s. 稼働日設定

どんな画面？ 稼働日平均電力使用量を表示するために稼働日を設定します。

👍 稼働日設定画面の表示・終了操作

画面表示…………… [設定] を長押し 表示解除…………… [設定] を長押し

※設定終了の操作はP.16『設定の終了』をご参照ください。

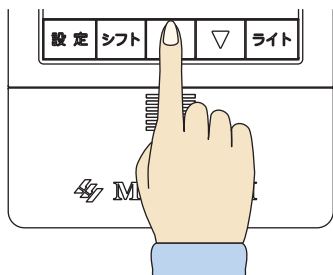


❗ 画面目印『稼働日』

各月の最大日数まで設定可能です
また設定された稼働日は毎年有効です
(2月は29日まで設定可能ですが、
29日に設定しても閏年 以外は28
日として計算します)

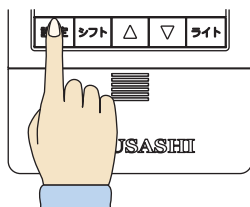
① 『稼働日設定』画面であることを確認します。

②

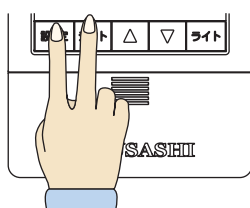


▲ または ▼ を押すと数値が変更します。

③



月順送りする場合は、 [設定] を押します。

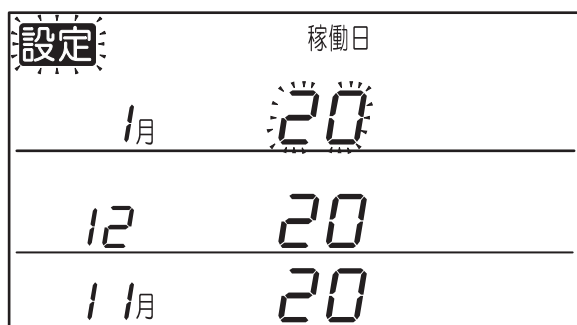


月逆送りする場合は、 [シフト] を押しながら [設定] を押します。

② 稼働日リセット操作

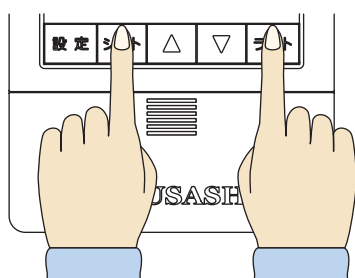
『稼働日設定』画面から操作することができます。
(画面表示はP.46、稼働日のリセット操作はP.61『◆各値リセット』をご参照ください)

①



『稼働日設定』であることを確認します。

②

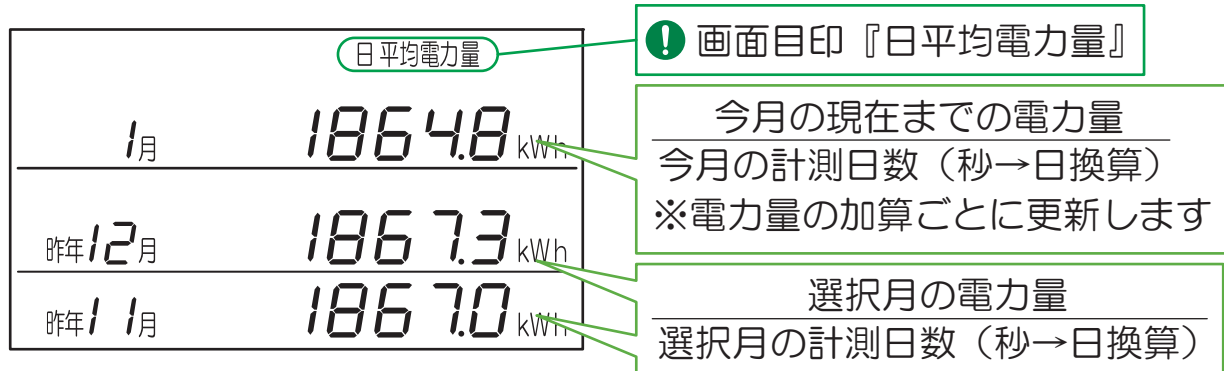


シフトを押しながらライトを5秒押します。

リセット前のデータは回復できません

画面5. 月別一日平均電力使用量

どんな画面? 電力使用量を月の日数で除算した日平均電力量を月毎に表示します。(過去15ヶ月分)



他の表示画面に切り替える場合の操作

画面 6. 月別電力量前年同月比率 (P.49)

画面 4. 月別稼動日平均電力使用量 (P.45)

過去データスクロール画面表示・解除操作

画面表示..... を押す 表示解除..... を押す
 画面表示後、 または を押すと過去データをスクロール

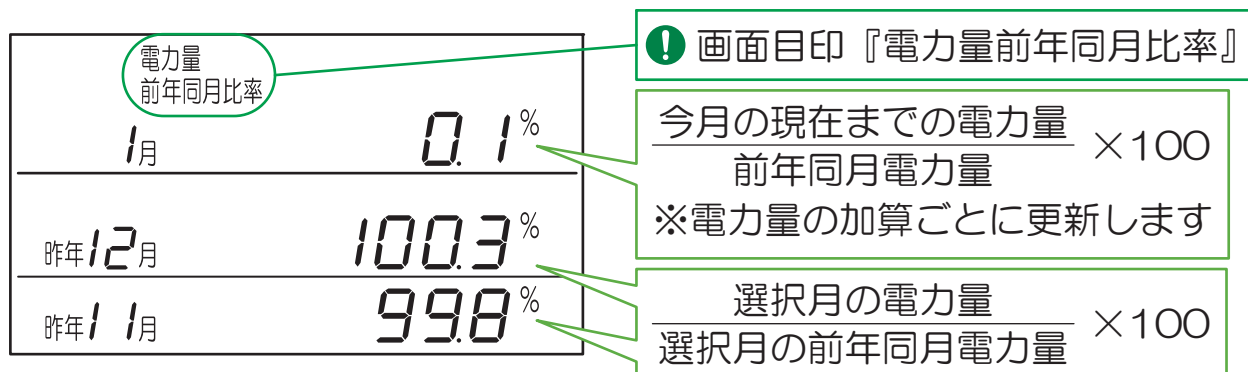
※P.34『過去データスクロールについて』をご参照ください。

※999999.9kWhまで表示可能です。

(オーバーすると999999.9を点滅表示)

画面6. 月別電力量前年同月比率

どんな画面? 前年同月に対する電力使用量の比率を月毎に表示します。
(過去15ヶ月分)



👉 他の表示画面に切り替える場合の操作

画面 7. 月別積算電力量 (P.50)

画面 5. 月別一日平均電力使用量 (P.48)

👉 過去データスクロール画面表示・解除操作

画面表示..... を押す 表示解除..... を押す

画面表示後、 または を押すと過去データをスクロール

※P.34『 過去データスクロールについて』をご参照ください。

※9999.9%まで表示可能です。

(オーバーすると9999.9を点滅表示)

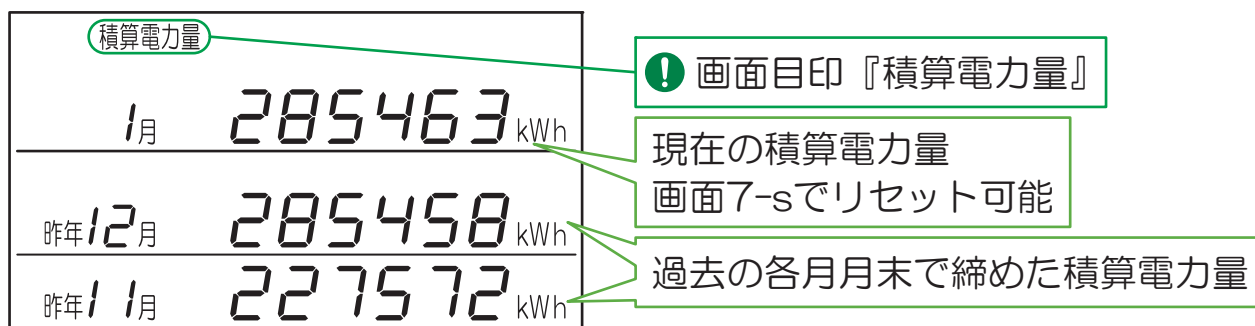
※前年のデータがない場合、『-----』が表示されます。

※閏年などで、前年と今年の計測時間が異なっても補正しません。

画面7. 月別積算電力量

どんな画面? 各月月末時点での積算電力量を表示します。
(過去15ヶ月分)

※P.34『■各電力データの相互関係について』をお読みください



👉 他の表示画面に切り替える場合の操作

画面 8. 月別電力使用量 (P.53) ▲

画面 6. 月別電力量前年同月比率 (P.49) ▼

👉 過去データスクロール画面表示・解除操作

画面表示..... [シフト] を押す 表示解除..... [シフト] を押す

画面表示後、▲ または ▼ を押すと過去データをスクロール

※P.34『■過去データスクロールについて』をご参照ください。

※9999999kWhまで表示可能です。

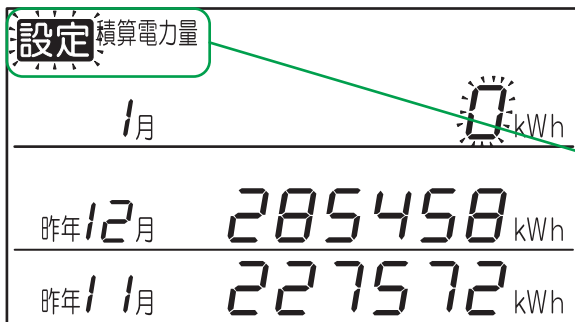
(オーバーすると0を再積算)

画面7-s. 積算電力量リセット

どんな画面？ 現在までに積算してきた電力量データをリセットします。

👉 積算電力量リセット画面の表示・終了操作

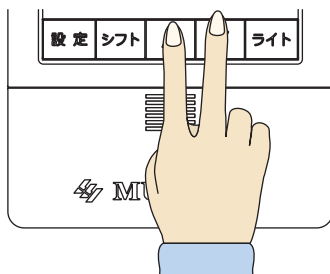
画面表示…………… [設定] を長押し 表示解除…………… [設定] を長押し



! 画面目印『設定 + 積算電力量』

① 『積算電力量リセット』画面であることを確認します。

②



▲ と ▼ を同時に押します。

※本リセットでは、月別電力使用量と電力パルスの出力には影響を与えません。
したがってリセット後に、積算電力量画面と月別電力使用量画面とで、数値の桁上がりに若干のズレが生じる場合があります。

② 全電力量データリセット操作

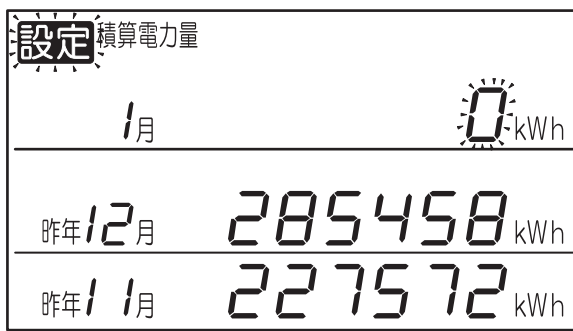
『積算電力量リセット』画面から操作することができます。
(画面表示はP.51をご参照ください)

全電力量データリセットは、画面3～10に関連するすべての電力データを消去します。

このリセット後は画面7へ強制復帰します。

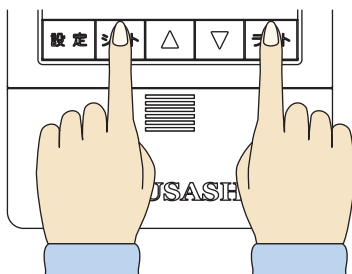
リセット前のデータは回復できません。

①



『積算電力量リセット』であることを確認します。

②

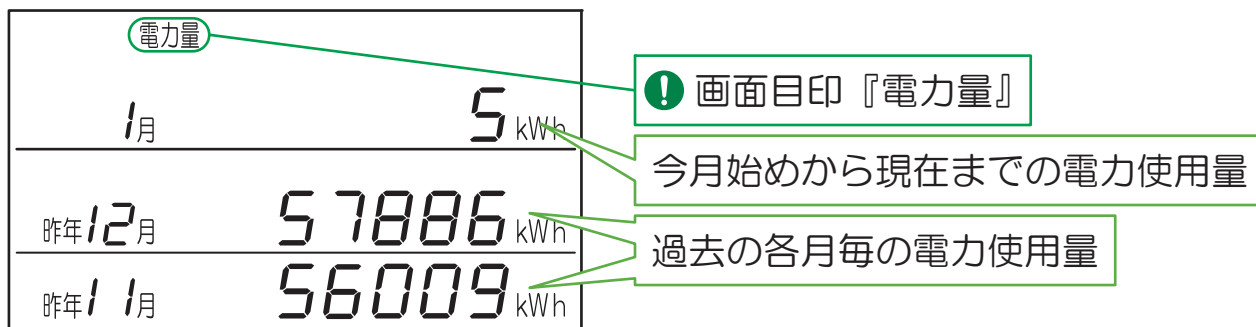


シフトを押しながらライトを5秒押します。

画面8. 月別電力使用量

どんな画面? 過去15ヶ月分の月毎の電力使用量を表示します。

※P.34 『■各電力データの相互関係について』をお読みください



他の表示画面に切り替える場合の操作

画面 9. 日別電力使用量 (P.54) ▲

画面 7. 月別積算電力量 (P.50) ▼

過去データスクロール画面表示・解除操作

画面表示..... [シフト] を押す 表示解除..... [シフト] を押す

画面表示後、▲ または ▼ を押すと過去データをスクロール

※P.34 『■過去データスクロールについて』をご参照ください。

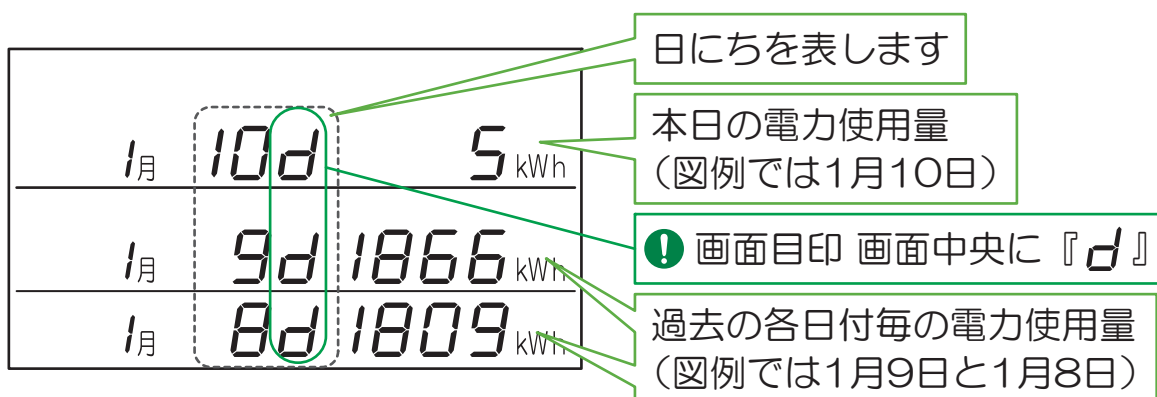
※9999999kWhまで表示可能です。

(オーバーすると9999999を点滅表示)

画面9. 日別電力使用量

どんな画面? 過去35日分の日毎の電力使用量を表示します。

※P.34『■各電力データの相互関係について』をお読みください



👉 他の表示画面に切り替える場合の操作

画面10. 時間別電力使用量 (P.55)



画面 8. 月別電力使用量 (P.53)



👉 過去データスクロール画面表示・解除操作

画面表示..... **シフト** を押す 表示解除..... **シフト** を押す

画面表示後、**▲** または **▼** を押すと過去データをスクロール

※P.34『■過去データスクロールについて』をご参照ください。

※9999kWhまで表示可能です。

(オーバーすると9999を点滅表示)

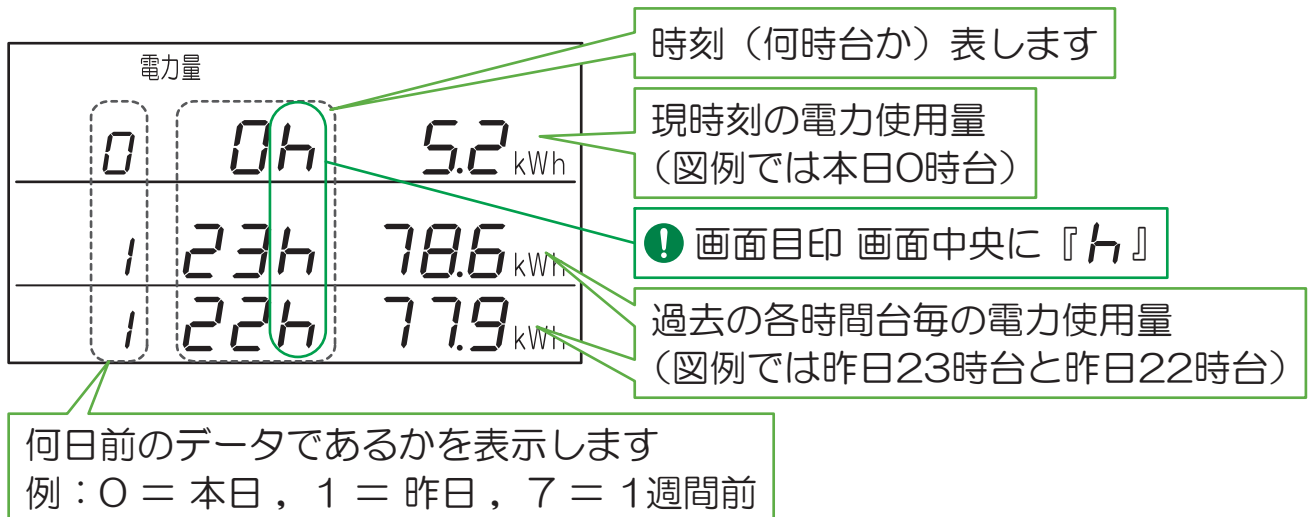
この場合、**設定** を押すと日にち表示を省略して9999999kWhまで表示可能です。

(さらにオーバーすると99999999を点滅表示)

画面10. 時間別電力使用量

どんな画面? 過去15日分（360時間）の1時間毎の電力使用量を表示します。

※P.34『■各電力データの相互関係について』をお読みください



👆 他の表示画面に切り替える場合の操作

画面 1. 瞬時電力 (P.35) ▲

画面 9. 日別電力使用量 (P.54) ▼

👆 過去データスクロール画面表示・解除操作

画面表示..... [シフト] を押す 表示解除..... [シフト] を押す

画面表示後、▲ または ▼ を押すと過去データをスクロール

※P.34『■過去データスクロールについて』をご参照ください。

※999.9kWhまで表示可能です。

（オーバーすると999.9を点滅表示）


この場合、[設定] を押すと日にち表示を省略して9999.9kWhまで表示可能です。

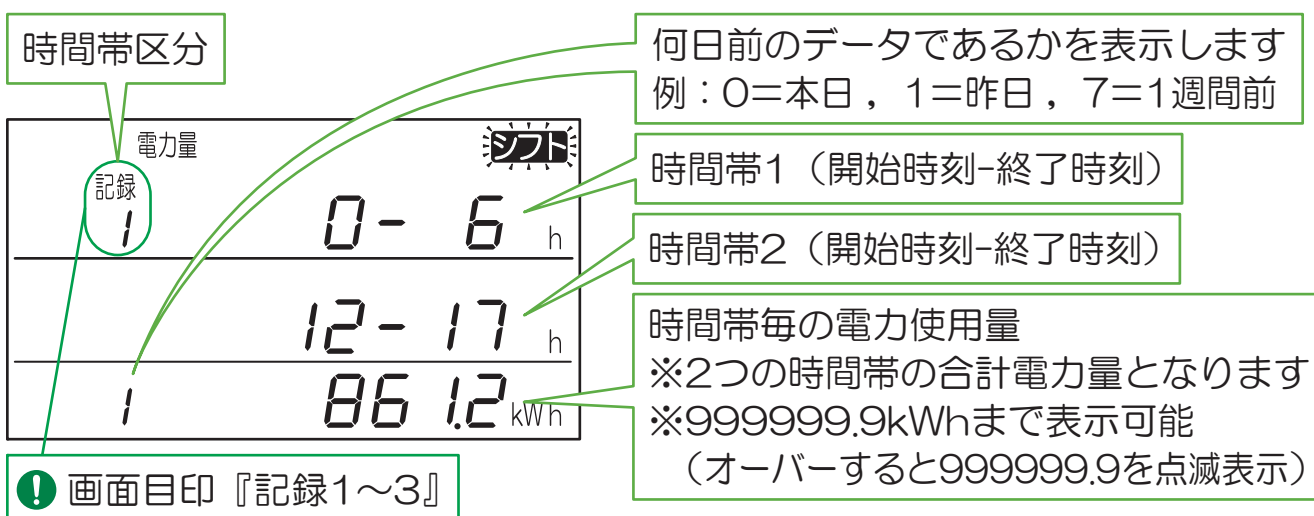
（さらにオーバーすると9999.9を点滅表示）

画面10-r. 時間帯別電力使用量記録

どんな画面? 1日を3つの時間帯に区分し、各区分毎の電力使用量を表示します。(過去8日分)
※時間帯の設定はP.58『画面10-rs. 時間帯設定』を参照

👆 時間帯別電力使用量記録画面の表示・解除操作

画面表示……………  を長押し 表示解除……………  を押す



The screenshot shows a screen with three rows of data. The first row shows '0-6 h' for the first time period. The second row shows '12-17 h' for the second time period. The third row shows '86.12 kWh' for the electricity usage. A '記録' (Record) button is visible on the left. Callouts explain the fields: '時間帯区分' (Time period division) points to the '記録' button; '電力量' (Electricity usage) points to the '86.12 kWh' value; '何日前のデータであるかを表示します' (Display the date of the data) points to the '1' in the '記録' button; '時間帯1 (開始時刻-終了時刻)' (Time period 1 (start time-end time)) points to '0-6 h'; '時間帯2 (開始時刻-終了時刻)' (Time period 2 (start time-end time)) points to '12-17 h'; '時間帯毎の電力使用量' (Electricity usage per time period) points to '86.12 kWh'; and '画面目印『記録1~3』' (Screen marker 'Record 1-3') points to the '記録' button.

時間帯区分

電力量

記録 1

0-6 h

12-17 h

1 86.12 kWh

何日前のデータであるかを表示します
例：0=本日，1=昨日，7=1週間前


時間帯1 (開始時刻-終了時刻)

時間帯2 (開始時刻-終了時刻)


時間帯毎の電力使用量
※2つの時間帯の合計電力量となります
※999999.9kWhまで表示可能
(オーバーすると999999.9を点滅表示)

❗ 画面目印『記録1~3』

👆 記録表示の切替操作

時間帯区分「記録1~3」の表示切替をする場合、 を押す

👆 表示日の切替操作

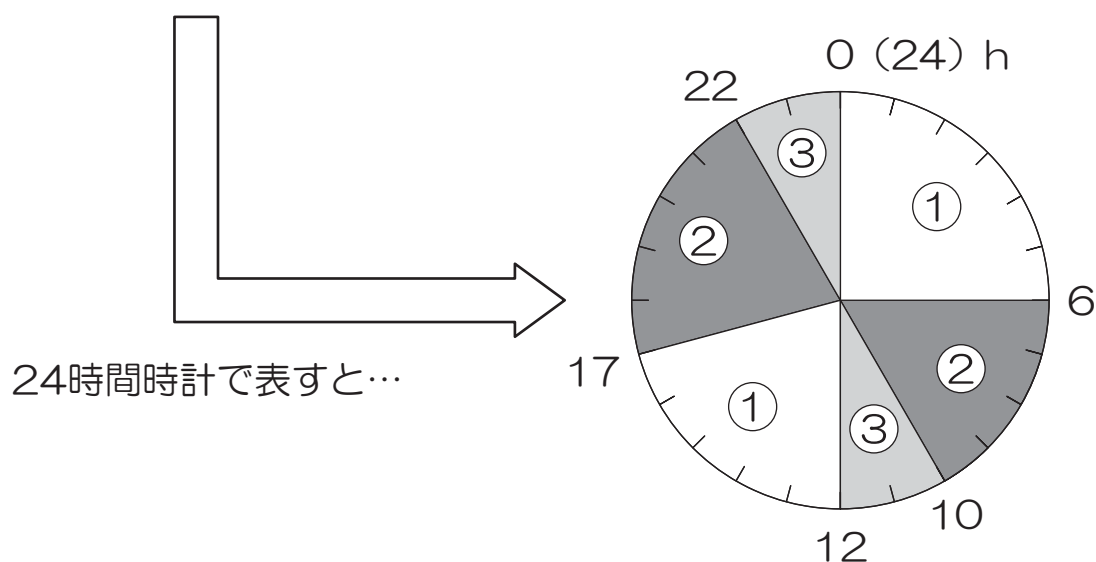
別の日にちの記録を確認する場合、 または  を押す

※電力使用量がD-call III本体の表示値とD-call III管理ソフトの表示値で異なる場合があります。

これはD-call III本体では小数点2位以下の値を含めた値で算出しますが、D-call III管理ソフトでは小数点2位以下で切り捨てた値で算出するためです。

【設定例】

時間帯区分	時間帯1	時間帯2
①「記録1」	0～6時	12～17時
②「記録2」	6～10時	17～22時
③「記録3」	10～12時	22～24時



※開始時刻と終了時刻が同一時刻のとき、その時間帯の電力使用量は0で計上されます。

※時間帯1と時間帯2で重なる時間帯があるとき、その間の電力使用量は2倍に計上されます。

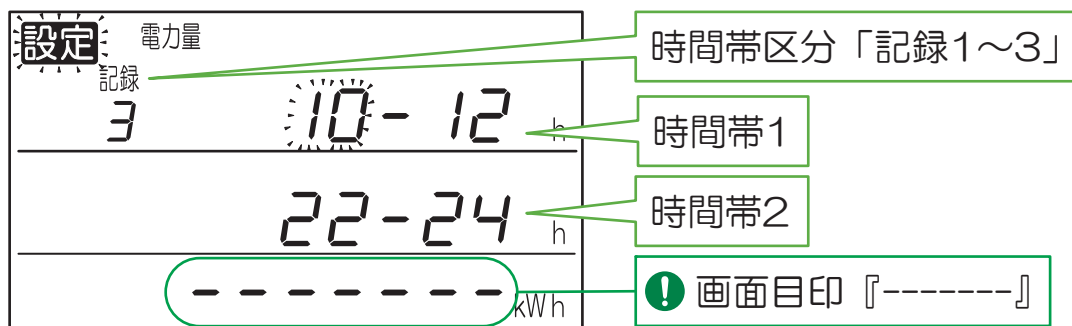
画面10-r s. 時間帯設定

※P.56『画面10-r. 時間帯別電力使用量記録』から操作します。

どんな画面？ 1日を3つの時間帯に区分します。

👆 時間帯設定画面の表示・終了操作

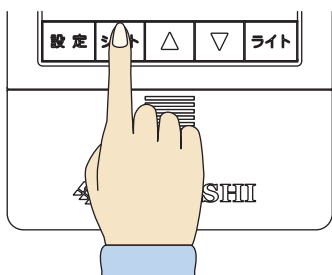
画面表示…………… [設定] を長押し 表示解除…………… [設定] を長押し
※設定終了の操作はP.16『設定の終了』をご参照ください。



※上図は区分3（記録3）を10～12時，22～24時の2つの時間帯で設定した場合です

① 『時間帯設定』画面であることを確認します。

②



設定できる桁が点滅します。
[シフト] を押すと点滅が移動します。

③ [▲] または [▼] を押すと数値が変更します。

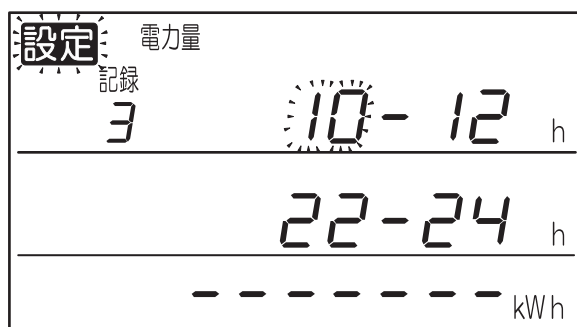
④ [設定] を押すと時間帯区分が切り替わります。

⑤ 上の②～④を繰り返し設定します。

② 時間帯リセット操作

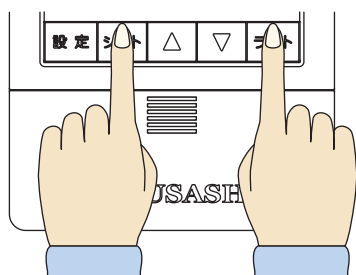
『時間帯設定』画面から操作することができます。
(画面表示はP.58、時間帯のリセット操作はP.61『◆各値リセット』をご参照ください)

①



『時間帯設定』であることを確認します。

②



シフトを押しながらライトを5秒押します。

リセット前のデータは回復できません

7. 警報動作

◇警報動作について

D-call Ⅲの警報動作にはデマンド警報動作と対電力量目標値警報動作の2種類がありますが、両方を同時に動作させることはできません。

外部警報出力接点をデマンド制御に使用する場合を考慮し、デマンド警報動作を優先させています。

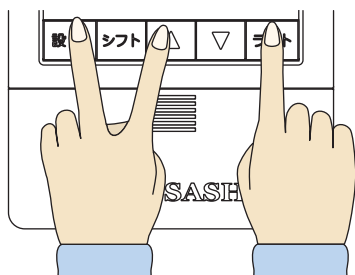
(対電力量目標値警報動作の発報条件を制限)

したがって電力量目標値を設定し、表示状態が画面3または画面3-sであっても、デマンド設定値を0に設定しない限りは対電力量目標値警報動作は有効になりませんので、ご注意ください。

8. リセット操作

◆完全リセット

⚠ 注意	すべてのデータ・記録・設定は消去され、P.10『1) 初期設定』の状態になります。 データは復元できません。
------	---

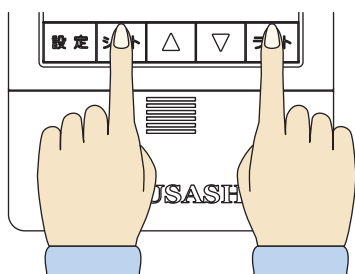


画面の状態にかかわらず、
設定 + ▲ + ライト を同時に5秒押します。

◆各値リセット

下記の特典画面のデータ・設定をすべて消去することができます。

- ①画面2-r. デマンド過去記録
→デマンド過去記録をすべて消去
- ②画面3-s. 電力量目標値設定
→電力量目標値をすべて消去
- ③画面4-s. 稼働日設定
→設定した稼働日をすべて消去
- ④画面7-s. 積算電力リセット【全電力データリセット操作】
→画面3～10に関連する電力量データをすべて消去
- ⑤画面10-rs. 時間帯設定
→設定した時間帯をすべて消去



リセットしたい画面で、
シフト + ライト を5秒押します。

※積算電力量のみリセットする場合は上記の操作とは異なります。
P.51『画面7-s. 積算電力量リセット』をご参照ください。

memo

— 合格証 —

この製品は当社の仕様に基づき検査をし電氣的、機械的性能を充分満足していることを保証します。

株式会社 ムサシインテック



製品に関するお問い合わせ先

株式会社ムサシインテック

- 技術サービス TEL (04) 2934-3671
- 東京サービスセンター TEL (04) 2934-3081
- お客様苦情窓口 ☎(0120) 634-109
- メールアドレス mi-support@musashi-in.co.jp
- ホームページ <http://www.musashi-in.co.jp/>

営業所一覧

- 営業本部 TEL (04) 2934-6034 FAX (04) 2934-8588
- 大阪営業所 TEL (06) 6388-9595 FAX (06) 6388-9601
- 九州営業所 TEL (092) 592-2161 FAX (092) 592-2163

当説明書に記載されている、仕様をはじめとする各事項は、予告なく変更することもございますので、あらかじめご了承ください。



Intelligent Technology Corporation.

株式会社 ムサシインテック

8501-548ST006
2011.01(3)